

# 長期利用実現のためのP&BR利用者の意識構造分析

社会システム計画学研究室2010年度修士研究 飛川明俊

## 研究の背景

P&BR(パーク・アンド・バスライド)

渋滞改善, 環境にやさしい交通体系の形成等において, TDM/MM等を促進するための有力な手法として認識され, 以前から注目されている

しかし ■現状・課題

- ・利用者が少なく社会実験止まりになる
- ・本格実施されても利用されない
- ・途中で利用を中断する人が続出する...

■解決策の検討

長期間継続的に利用されるP&BRシステム構築の検討が必要

## 研究の目的

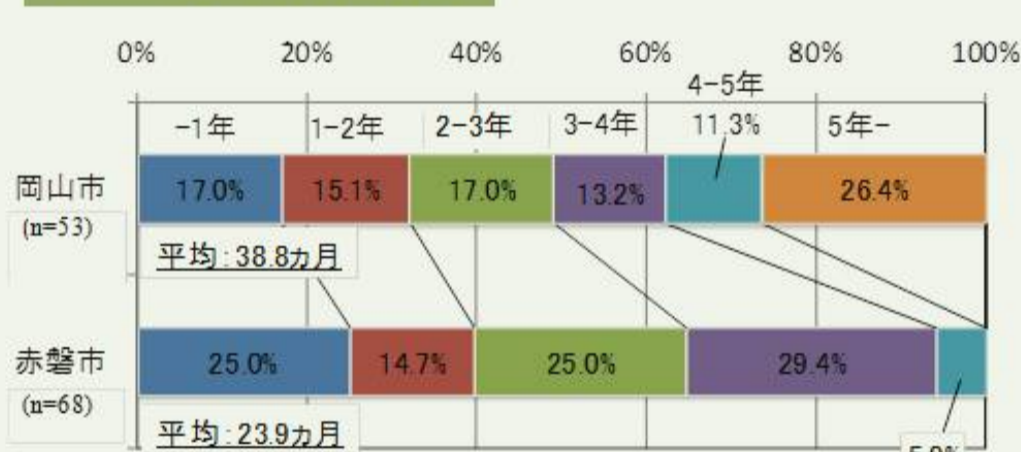
中長期的な利用前後のP&BRに対する意識とその変化を把握

P&BRの**利用継続**につながる事項について検討する

## 集計結果

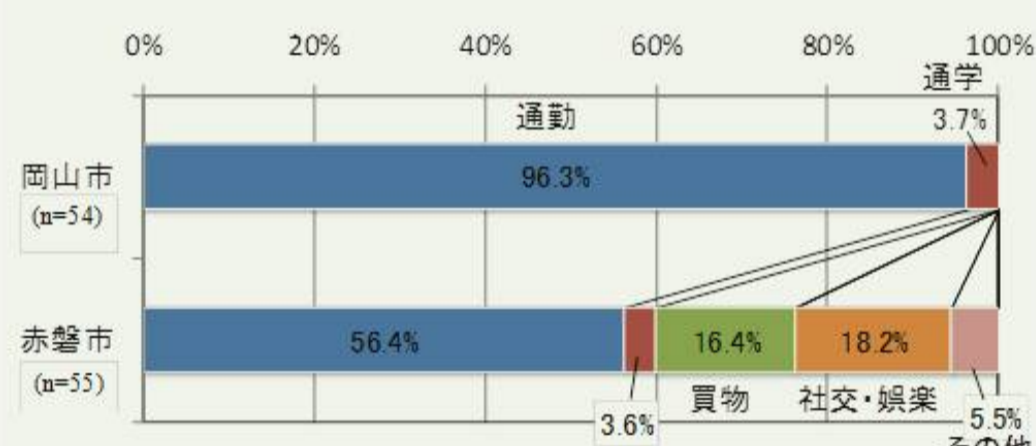
### P&BRの利用形態

#### P&BRの利用期間



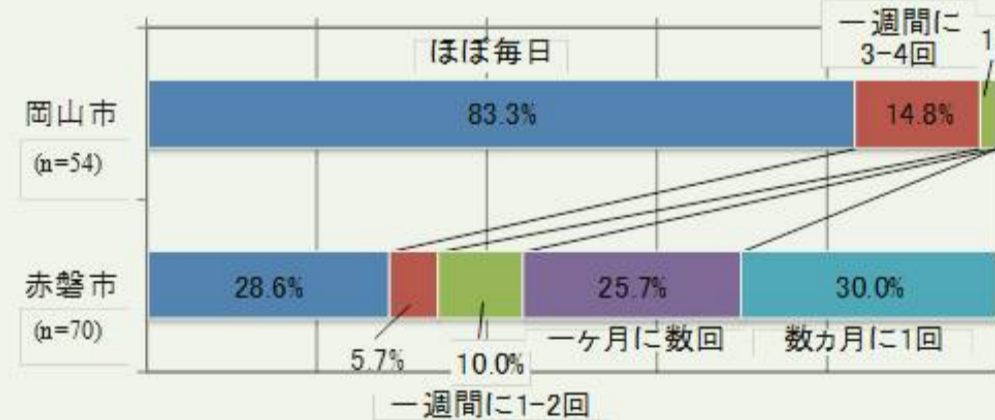
●両市ともに比較的**長期**の利用者が多い

### P&BRの利用目的



- 岡山市**は100%が**通勤**と**通学**で利用
- 赤磐市**では**買物**や**社交・娯楽**といった**多岐にわたった目的**で利用されている

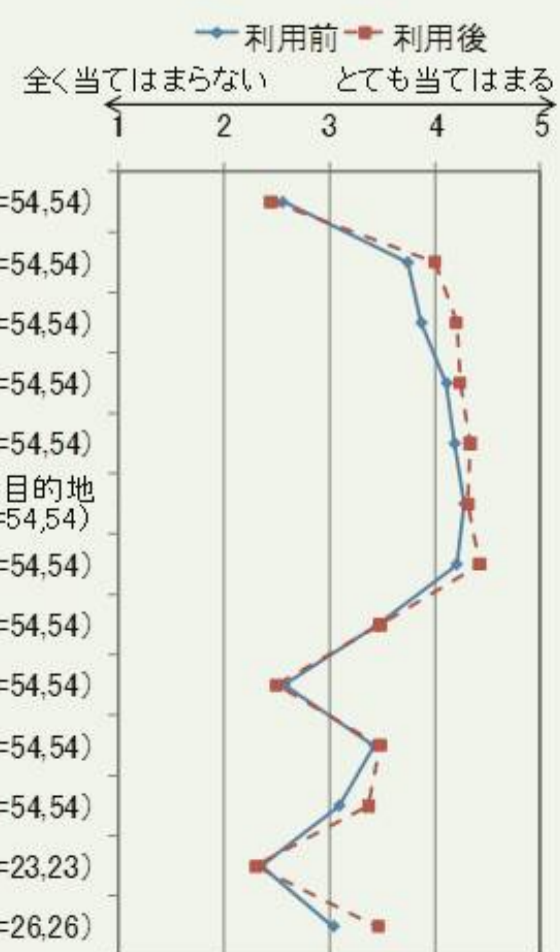
### P&BRの利用頻度



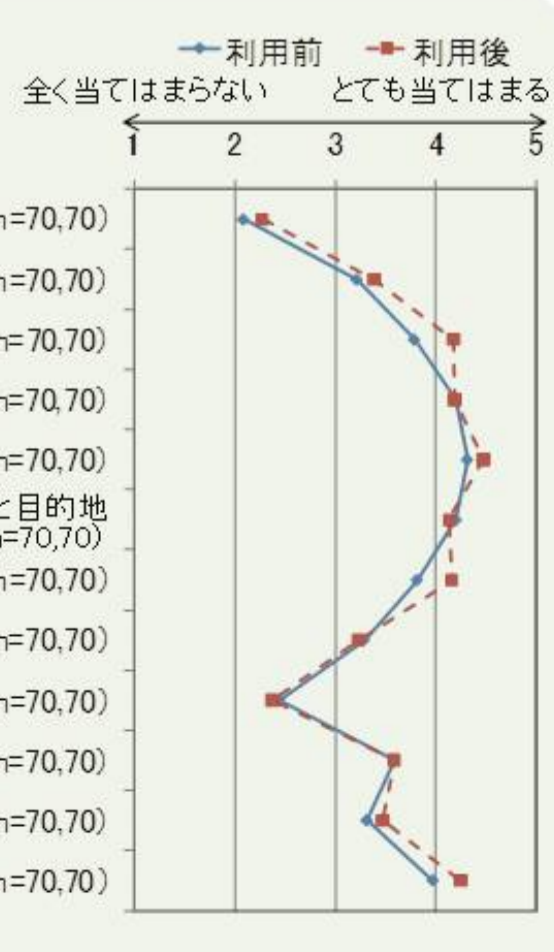
- 岡山市**は, ほぼ毎日の利用者が約83%を占めており, **利用頻度が高い**
- 赤磐市**は, ほぼ毎日利用する者から数ヶ月に1回利用する者も存在し, **多様な利用形態**をしている

## 利用前後のP&BRに対する意識とその変化

### 岡山市



### 赤磐市

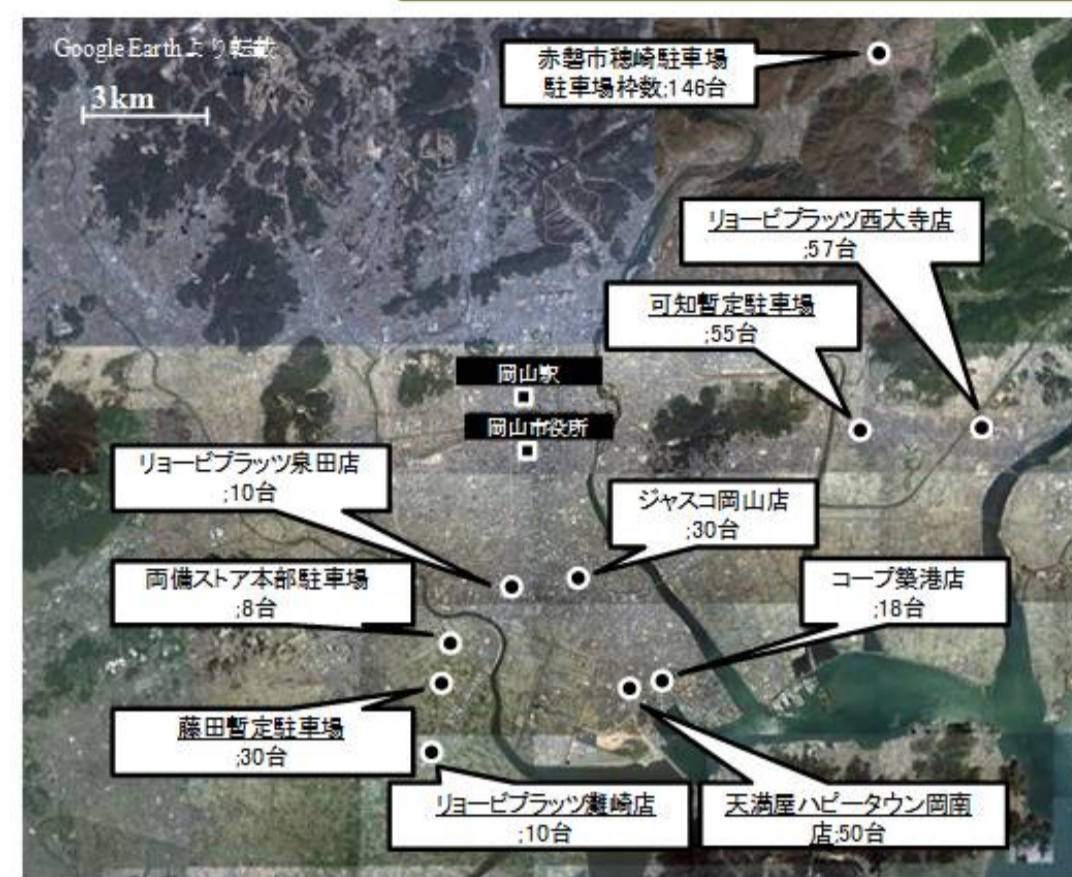


- 利用後はすべての項目で, 利用前と同等または良い印象に変化している
- 両市ともに「**自動車運転から解放される**」「**バスの中で時間を有効に使える**」の2項目については利用後に特に印象が良くなった

## 調査対象P&BRの概要

対象事例

岡山市および(隣接する)赤磐市で実施しているP&BR

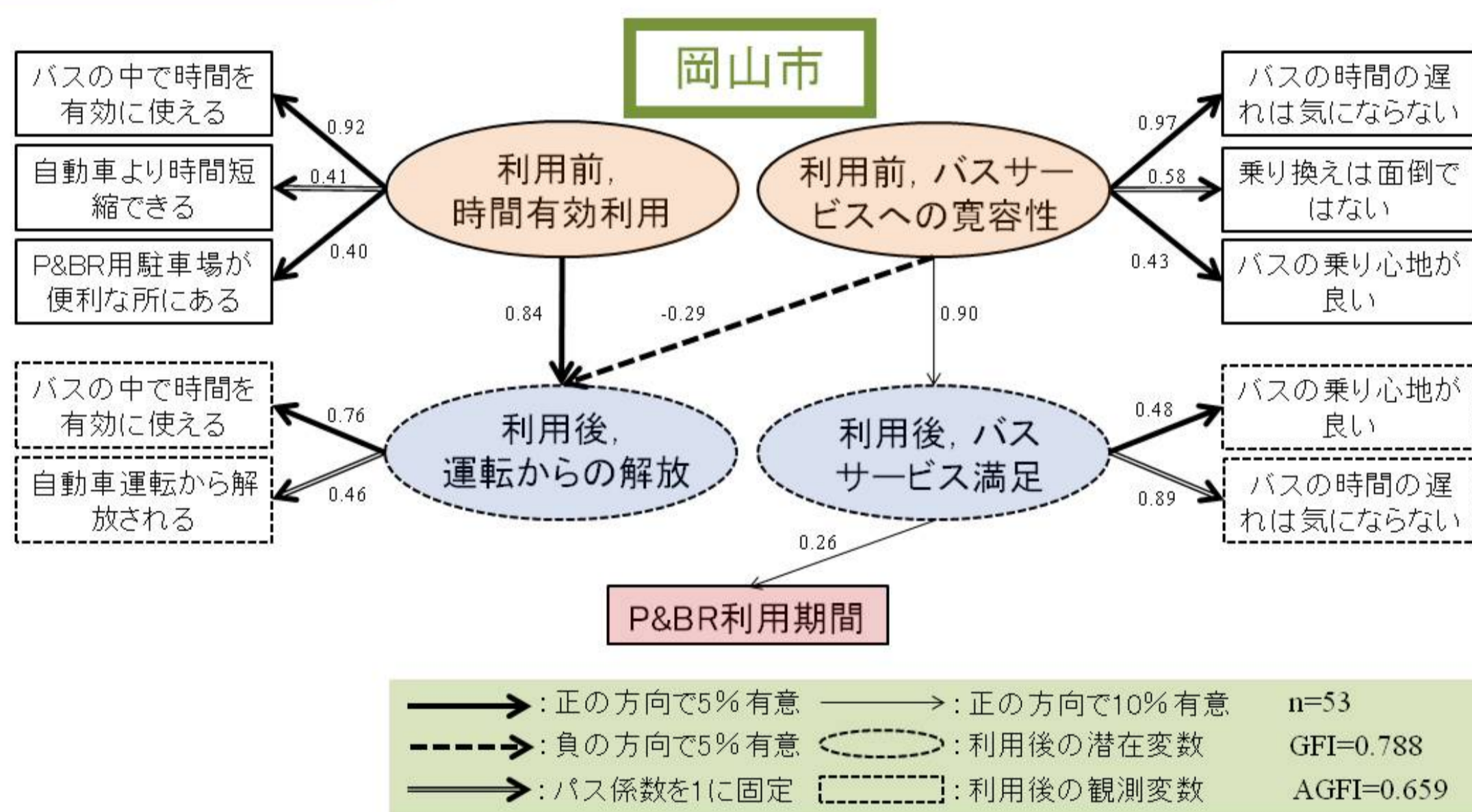


## アンケート調査の概要

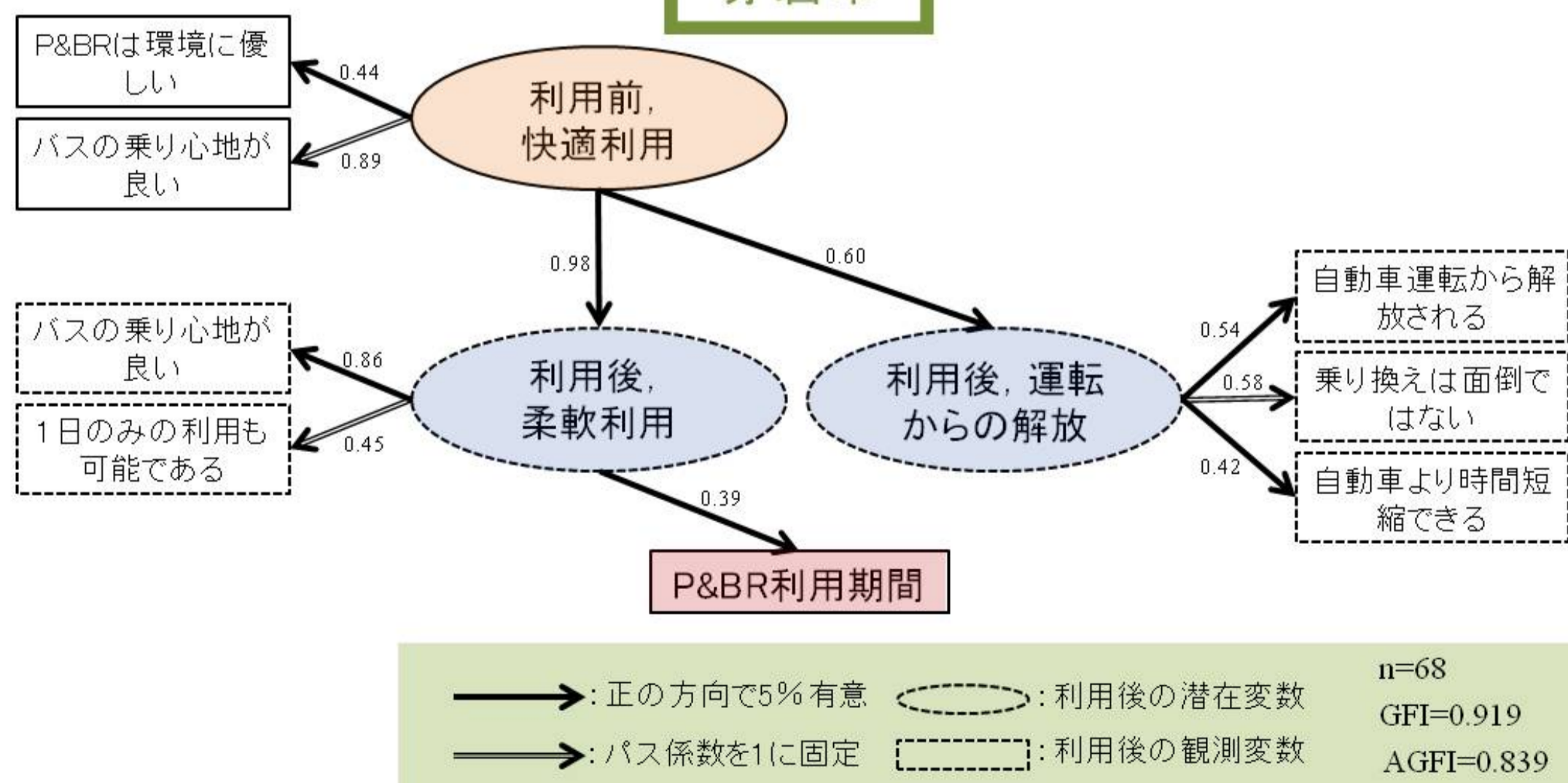
調査対象都市	岡山市	赤磐市
調査時期	2010年1月5日~2010年1月12日	
調査票配布枚数	234	269
回収サンプル数	97	141
回収率	41.5%	52.4%
分析対象サンプル数	54	70
分析対象とする回答者内訳	男性:37.3% 女性:62.7%	男性:33.3% 女性:66.7%
	-19歳 20-29歳 30-39歳	-19歳 20-29歳 30-39歳
	3.9% 19.6% 15.7%	1.5% 16.2% 11.8%
	40-49歳 50-59歳 60歳-	40-49歳 50-59歳 60歳-
	31.4% 21.6% 7.8%	23.5% 17.6% 29.4%

## 分析結果

### 利用前後の意識と利用期間の因果関係



### 赤磐市



## 結論

**岡山市** → 利用者の**利用前のバスサービスへの寛容性**と**利用後のバスサービスへの満足**が**利用期間の長さ**につながっている

**赤磐市** → 利用者はP&BRに対して**多様な快適性**を感じて利用を開始し, 利用後は**柔軟に利用**できるという魅力を感じて利用しており, その意識が**利用期間の長さ**につながっている